

設計者・施工者ワークショップが始まりました！

長門湯本温泉の住まいづくりに関わる、市内の設計者、大工・工務店、製材所、建材業者などを対象とした、設計者・施工者ワークショップが始まり、第1回目を平成29年5月19日（金）夜、湯本温泉旅館協同組合会議室において、開催しました。

住民や観光事業者を対象としたガイドラインの検討と並行して、実際に設計を担当する設計者、工事を請け負う施工者がガイドラインの内容を共有することで、長門湯本温泉らしさが一つの工事を通して積み上がり、実効性のあるガイドラインとなります。

今後、複数回のワークショップを通して、設計者・施工者側から考える長門湯本温泉らしさとそれを守り育てるガイドラインの在り方について議論していきます。

住まい手・作り手・観光事業者が一体となり、長門湯本温泉らしい町並みづくりを推進していきましょう！



長門湯本温泉らしい住まいについて意見交換



長門湯本温泉のいにしえ写真で意見交換

“Thanks ONTO” が開催されました！

1427年の開湯から600年以上の歴史を誇る長門湯本温泉。その中でも長きにわたり地元の人たちに愛されてきた公衆浴場「恩湯」が、2017年5月、建替えのために一旦営業を停止します。

そこで、長門湯本温泉の象徴とも言える恩湯にこれまでの感謝を込めつつ、より良きこれからのまちづくりをたっぴりと語り合うイベント【Thanks ONTO ～恩湯に感謝を込めて未来へ～】が平成29年5月20日（土）に開催されました。

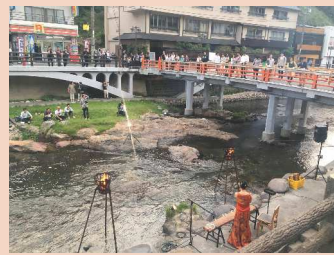
恩湯での足湯に浸かりながらの「ながトーク」、焼き鳥やピッツァ、ハンバーガー、カフェ、バー等の飲食店の出店、音信川での琴の生演奏、夜間照明の演出、川沿いの手作りカウンターを設置など、長門湯本温泉観光まちづくりが目標としている賑わいを感じさせるイベントでした。



恩湯で行われた第3回ながトーク



湯本に7月open予定のカフェが出店



琴の生演奏の様子



木製テントによるバーが開店



夜は音信川や千代橋がライトアップされ、琴の生演奏が行われました！



これから広場となる場所を活用、たくさんの方が来場、将来のにぎわいを実感！！

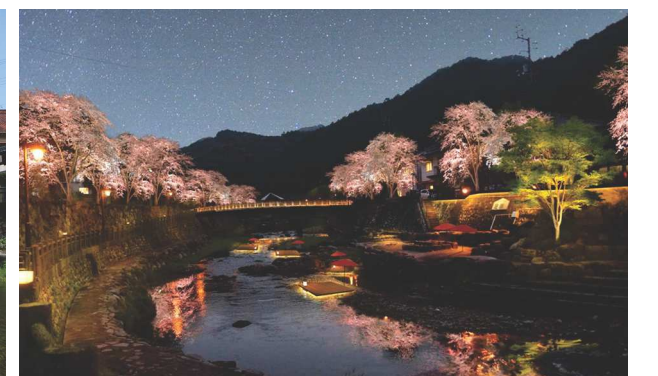


長門湯本温泉のまちづくりが進んでいます！

長門市では昨年8月に長門湯本温泉の再生を目的とした「長門湯本温泉観光まちづくり計画」を策定し、本年3月には湯本区・門前区・三ノ瀬区を対象区域とした「長門湯本地区景観計画」を策定しました。長門湯本温泉では、長門湯本温泉観光まちづくり計画に伴う整備（恩湯や礼湯・雁木や竹林の階段・駐車場等）と並行して、長門湯本温泉が観光地として魅力ある景観づくりをする為に、皆で守るルールとしてのガイドラインづくりと川床・夜間照明・交通などの多様な社会実験を通したまちづくりを進めていきます。



川床の社会実験イメージ



夜間照明の社会実験イメージ

第1回住民ワークショップを開催しました！

平成29年5月20日（土）午後、湯本温泉旅館協同組合会議室において、第1回住民ワークショップを開催しました。

住民ワークショップでは、まず始めに長門湯本温泉の今後のまちづくりの進め方を紹介しました。その後、長門湯本地区のまち歩きを実施し、長門湯本温泉の今後の整備を体験すると共に、長門湯本温泉らしさや魅力、問題点を意見交換しながら歩きました。会場に戻り、まち歩きで考えたことや意見交換したことを、①観光まちづくり、②ランドスケープと河川利用、③建築とリノベーション、④夜間照明、⑤交通の5つのテーマで話し合いました。意見交換した内容は、裏面のまち歩きマップにまとめていきます。



1. 専門家による進め方の説明



2. 参加者全員でまち歩き



3. まち歩きマップづくり



4. 成果マップを発表

第2回住民ワークショップを6月11日（日）に開催します

第2回住民ワークショップ「長門湯本温泉らしい夜間景観と町並みを考える」

日時：平成29年6月11日（日） 13：00～16：00

場所：湯本温泉旅館協同組合2階 会議室

参加者：地域の方なら、どなたでもご参加できます！お気軽にご参加ください！（参加無料）